

2学期が始まって1ヶ月 皆、生き生きと学んでいます！

暑い夏も終わり、すっかり秋の涼しさが感じられるようになりました。

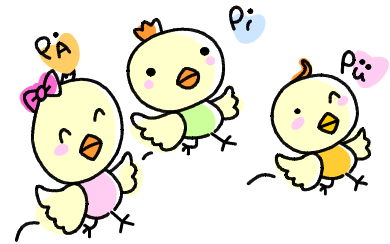
2学期が始まってからのこの1ヶ月は、台風や降雨など、天候があまりよくない日が続きましたので、体調をこわさなければよいけれど、と心配しておりましたが、子どもたちは、毎日元気に、それぞれのペースで生き生きと学んでいます。

【小学部の授業の一コマ】

図工の授業で、いろいろな色のセロハン紙を使ってきれいなランプシェードをつくったり、段ボールでできたおうちの屋根や壁に自分の好きな色を塗ったりしていました。2年生と5年生の二人が一緒に、お互いに刺激を受け合いながら集中して制作活動に取り組んでいて感心しました。

音楽の授業では、大喜びで楽しいパネルシアターを見たり、先生たちを誘って手をつないで歌ったり、物語に合わせて曲をつくって演奏したり…。それはもう楽しそうでした。見ている私も本当にうれしくなりました。

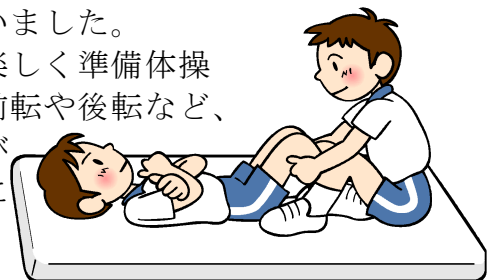
体育の授業では、走り幅跳びに取り組んでいました。自己記録アップに挑戦しながら、何度もチャレンジする姿はとても立派でした。



【中学部の授業の一コマ】

1年生の三人はとっても仲良し。いつ授業を見に行っても、三人で手を重ねて「がんばるぞ、オー！」などと言ってから学習を進める姿は、ほほえましい限りです。国語の授業、美術の授業、生活単元学習の授業など、お互いのがんばりを認め合いながら、よい雰囲気での学習が進められていました。

中学部全体の体育の授業では、音楽に合わせて楽しく準備体操をしたあと、マット運動に取り組んでいました。前転や後転など、自分の得意な種目を披露し合い、皆から拍手を浴びてうれしそうでした。オリンピックの選手のように最後にパッと腕を広げてポーズを決める姿は、とてもかっこよかったです。



作業学習では、紙すきの他、木工や縫製にも取り組んでいました。作業実習室の外に木工専用の特設スペースを設け、衛生面に細心の注意を払いながら学習できるようにしています。あがとく祭での製品販売が楽しみです。

他にも、保健の授業や食育の授業、道徳の授業など、吾特の子どもたちは様々なことを、一生懸命学んでいます。おうちでも、「今日は学校で、どんなお勉強をしたの?」と聞いてみてください。

校内レクリエーション大会 ～レインボーフェス～ 楽しくできました

9月8日（木）に、初めての校内レクリエーション大会～レインボーフェス～を実施しました。小学部と中学部と一緒に、体を動かしたりゲームをしたり歌を歌ったりと、楽しい時間を過ごすことができました。保護者の方々にも多数御参加いただいたので、子どもたちは一層輝いた笑顔を見せてくれました。お忙しい中、ありがとうございました。

吾妻特別支援学校には小学部から中学部までの義務教育段階9学年の子どもたちがおりますので、年齢は6歳から15歳と非常に幅広くなっています。当然、体力差もありますので、一般的な体育祭となると、一緒にできる種目も限られてきます。そのような状況にあって、レインボーフェスのような低学年の子どもから高学年の子どもまでと一緒に楽しめる機会は非常に大切だと考えています。

また、本校では、小学部と中学部と一緒に学ぶ小規模校のよさを生かして、「小中一貫教育」を行っています。音楽や体育の授業を合同で行ったり、先生方が学部を超えて授業を受け持ったりすることで、児童生徒理解を深め、すべての先生方がすべての子どもたちを見ていく教育を実践しています。これからも、12名の子どもたちを27名の教職員であたたかく見守り育てる教育を、保護者の皆様と共に進めていきたいと思っておりますので、引き続きの御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



新たな交流活動を目指して

～中之条小学校の全校児童の皆さんが来校しました～

9月に入ってから、中之条小学校の1年生から6年生までの全員の皆さんが吾妻特別支援学校に来て、学校の説明を聞いたり校舎内の見学をしたりしています。

これまでも、中之条小学校のけやき学級の皆さんとは交流学习をしてきましたが、それを一歩進めて、様々な学年の皆さんとの交流学习を進めていこうとするものです。

もともと本校は、中之条小学校の隣に校舎を建て、体育館や校庭を共用したり、自由に行き来したりできるようした学校ですが、当初から目指していた「だれもが共に遊び、共に学ぶ」という姿を実現させていこうとする取組が始まったということになります。もちろん、すぐに、同じ学校同士のように自由に交流できるようになるということはないでしょうし、それはなかなか難しいことだとは思いますが、少しずつ少しずつ、やれるところからやっていきたいと思っています。

